



写真右 取締役 総務部長 佐藤正人氏

企業版ふるさと納税の感謝状を贈呈

秋田印刷製本株式会社様から、企業版ふるさと納税制度を活用したご寄附に対して感謝の意を表すため、5月23日（火）に感謝状を贈呈いたしました。この度の寄附は、当町の地方創生事業のうち、「道の駅もがみ（仮称）整備事業」に大切に活用させていただきます。誠にありがとうございました。

※「企業版ふるさと納税」とは、本社が町外にある企業より、寄付を通じて最上町を応援していただける制度です。

アスパラガスの安全祈願祭及び初出荷式

5月10日（水）もがみ中央農業協同組合東部営農センター集出荷場にて「安全祈願祭及び初出荷式」が開催されました。神事がとりおこなわれ、長野・関東方面の市場に向け、朝採りの新鮮なアスパラガスが出荷されました。今年で20回目を迎えた祈願祭及び初出荷式ですが、昨年度は降雹による被害があったにもかかわらず、前年を上回る出荷量となりました。

今年度も昨年度に負けることのない出荷量を目指し、より良い品質のアスパラガスが豊作となるように、更なる発展が期待されます。夏の訪れとともに、最上町の農作業も活気に満ちているところです。



道の駅の竣工に向けて地鎮祭が行なわれました



5月24日（水）に今秋開設予定となる「道の駅もがみ（仮称）」の竣工に向けた地鎮祭並びに安全祈願祭が行われました。当日は町関係者の他、設計・施工業者など関係者20名が参列し、玉串をささげ、工事の安全と無事を祈願しました。

工期は令和5年5月から11月末までを予定し、完成後はにぎわい創出や道路情報提供など多様な役割を担います。地鎮祭を終え、本格的な建設工事が始まります。地域の方々をはじめ、町民の皆様にはご迷惑やご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

高校生がシルクスイートの植付



5月25日（木）に新庄北高最上校の1、2年生25名が産直ゆけむりが栽培しているシルクスイートの植付体験を行ないました。産直ゆけむりでは5年前から栽培を始め、赤倉ゆけむり館内の産直ゆけむりにて焼き芋や生芋、そしてシルクスイートを練りこんだスティックケーキ「赤倉物語」を販売しております。また、昨年度は生芋がふるさと納税の返礼品にもなっております。

生徒たちは産直ゆけむりの地域活性化の取組についてのお話を聞き、実際に植付体験等を行ないました。今後秋の収穫も予定しており、生徒たちに新しい商品の提案等をいただく予定です。

第1回ワイルドエドベンチャースクール



今年度の第1回ワイルドエドベンチャースクールが5月13日（土）に前森周辺、大場満郎冒険学校を会場に実施されました。内容はじゃがいもなどの野菜の植付けと巣箱づくりです。野菜の植付けでは、サポーターから植え方を指導してもらい、手が土だらけになりながらも一生懸命行なっていました。巣箱づくりでは、釘打ちなど初めての体験が多く、サポーターと一緒に世界に一つだけの巣箱を作製しました。

赤倉地区春祭りが開催されました



5月14日（日）、赤倉温泉春まつりが開催され、薬師神社から赤倉ゆけむり館前まで神輿が練り歩きました。この春まつりは薬師様の例祭で、赤倉地区の伝統ある行事の一つとなっています。

今年も規模を縮小した中での開催となりましたが、地元の若い方や中学生が神輿を担ぎ、幼児や小学生が神輿を引っ張り、元気な掛け声が温泉街に響き渡りました。

町内では66年ぶりの献穀者新嘗祭が行なわれました



5月15日（月）に、宮中行事の新嘗祭に献上する穀物の修祓式が向町地区で行なわれました。毎年11月23日に開催される新嘗祭は、天皇が国家と国民の安寧と繁栄のため、神に祈願することを目的としたものです。

山形県では市町村の持ち回りで精米と精粟を献上しており、今年は最上町の米と粟が献上されることになり、精米の献穀者は今田源光さん（向町）、精粟の献穀者は菅孝さん（東法田）が選ばれました。

最上町からの献穀者は昭和32年以来66年ぶりとなります。献穀者の挨拶では両名ともに「しっかりとしたものを生産し献穀したい」と決意を語っていました。

解体工事のことなら
大場組にお任せください！

申請手続き・補助金申請・近隣挨拶などお手伝いいたします。
もちろん、見積無料！お気軽にお問合せください。

お問合せ先
㈱大場組 0233-44-2424
担当 長瀬 (080-2813-9578)

薬王堂 山形最上店

*パートさん *アルバイトさん

スタッフ募集!

専門的な知識がなくてもOK! ライフスタイルに合わせてシフトが選べます!

薬王堂で働くメリット

賞与支給あります! 専門教育の充実 正社員登用制度

詳しくはこちらへ ☎ 薬王堂山形最上店 0233-43-2069